

久留米市 農業委員会だより 第16号

発行 令和6年8月1日



市イメージキャラクター
第16号
発行 令和6年8月1日



☆第16号の主な内容☆

- 新規就農者の紹介
- 地域計画について
- 頑張る女性農業者
- 農地パトロールの実施

農業委員より一言



なかやま けんじ
中山 健治委員

若い世代のつながりを大切に、これからもおいしいイチゴを作られるように日々勉強し、頑張ってください。今後も活躍を期待しています。

新規就農者の紹介

北村 周一さん(三瀬町・40歳)
イチゴ農家として就農し、現在3年目になります。

就農したきっかけは、叔父がイチゴを栽培していたことと、加えて、身近な友人がイチゴの栽培を始めたことで、私も挑戦しようと思ったことです。

収穫の時期になると、大切に育てたイチゴの成長を実感し、「1年間頑張ったよかった。」と、とてもやりがいを感じます。私は手仕事が好きで、最初から最後まで自分で作物を作り上げることは性格にあっているため、本当に就農して良かったと思います。

これからは、今まで以上にイチゴの出荷量を増やして、私自身も成長していきたいです。

農地パトロールを実施します

農業委員会では、毎年8月・9月に市内の農地の利用状況調査(農地パトロール)を実施します。遊休農地、もしくは無断転用農地の早期発見を目的としており、全委員が各々の担当地区を巡回し、所有者等への改善指導を行い、荒廃農地の拡大防止に繋げております。なお、農地パトロールの結果、遊休農地と判断された場合は、所有者等に対して、今後の農地の利用についての意向を調査します。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【農地所有者の方へお願い】

雑草が繁茂している遊休農地は、病害虫の発生等により、周囲の農地に悪影響を及ぼす恐れがあります。農地所有者の方は、耕起や草刈りなど適切な管理にご協力をお願いいたします。



お知らせ

農業委員会では、**令和6年8月30日(金)**まで、利用権設定の申し込みを受け付けています。希望される方は、申出書を貸し手・借り手の連名で作成し、農業委員会事務局(市役所15階)または、各事務所(各総合支所の産業振興課内)に提出してください。なお、今回の申し込み分は**令和6年11月26日(火)**からの貸借契約になります。



発行：久留米市農業委員会

TEL：0942-30-9236

FAX：0942-30-9717

E-mail：nouji@city.kurume.lg.jp



農林業センサスにご協力ください

令和7年2月1日現在で「農林業の国勢調査」といわれる「2025年農林業センサス」を実施します。この調査は、5年ごとに行われ、今後の農林業の政策や食糧計画の基礎となる大切な調査です。

12月中旬から、調査員が皆様のもとに訪問し、調査票の記入をお願いします。農林業の今を知り、未来をつくる調査に、ご協力ください。

総務部総務課 統計チーム
0942-30-9053

編集後記

暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。熱中症に十分に注意し、こまめな水分補給を心掛けてください。

今年は、地域計画という新しい農業の将来の姿について話し合いをしていくこととなります。皆様のご協力を願っています。

今後も、農業委員会の活動をご理解いただくため、読みやすい紙面づくりに努めてまいります。

〈広報委員〉
甲斐 サエ子
内田 すなを
後藤 マス子
轟 香代子
保坂 泰生
本山 龍一

北村さん(表紙の続き)

毎年上手いかなかったことを反省し、次はこうしようと試行錯誤しながら常に前向きに改善をしています。

収穫時期が終わり休日になると、家族4人で出かけ、心身共にリフレッシュをしています。



▲ハウス内で談笑している様子
(左：北村周一さん 右：中山農業委員)

全国農業委員会会長大会へ参加

5月29日(水)、東京都の文京シビックホールにおいて、約2000人の全国の農業委員会会長や、多数の国会議員の来賓などが参加し、令和6年度の全国農業委員会会長大会が開催されました。

大会では、農業をめぐる様々な課題に対応するために作成した、「食料・農業・農村基本政策の具体化に向けて - 農業者等が真に望む施策の展開 -」をテーマとした政策提案が決議されました。産業を担う農業者や生産基盤となる農地が減少し続ける中、今ある農地を守り、農業者が将来希望を持って国民への食料供給の付託に応えるためにも、農業者が真に望む具体的な政策が必要であるとしています。

また、「地域の農地を活かし、持続可能な農業・農村を創る全国運動」を推進するための申し合わせ決議が行われました。

内容は、地域計画の策定・実現に向けて、農業委員・農地利用最適化推進委員が、市町村との協力体制を強化することや、地域との話し合いに積極的に参加することなどを通

じて、地域の農業者の思いを計画に反映する役割を担い、農地利用の最適化を進めようというものです。

翌日の5月30日(木)には、農業委員等合同研修会が行われました。県内のみならず、多くの市町村の会長が一堂に会し、農業委員会の役割や情報事業の推進についての勉強会を行い、見識を深めました。



▲全国農業委員会会長大会の様子

頑張る女性農業者インタビュー (早田 暖音さん)

取材日：5月22日(水)
取材者：甲斐 サエ子 農業委員

Q.就農されたきっかけは？

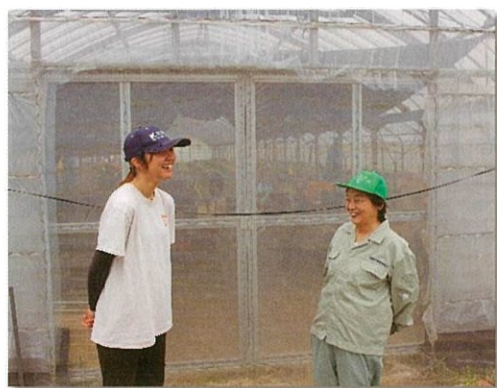
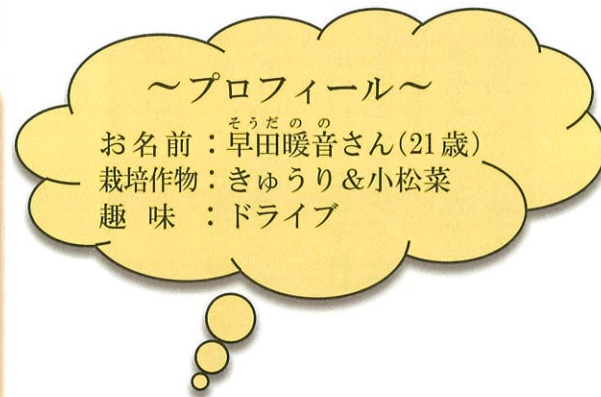
父が農業をされていて、小さい頃から手伝いをしていました。就職先を探している時に、農業のおもしろさ、作物を育てる楽しさに気づき、私も農業を始めたいと思ったことがきっかけです。

Q.現在作られている作物は？

夏にきゅうりを、冬には小松菜を作っています。父や先輩農家のアドバイスを受けながら、日々勉強中です。初収穫の時は、やり方が分からずとても苦労しましたが、それよりも楽しさが勝り、改めて作物を育てる楽しさを感じました。

Q.これからの夢や目標は？

現在は父の手を借りながら作業をしていますが、これからは、1人でもできるように教わったことや学んだことを吸収して活かしていきたいです。現在3連棟のハウスですが、将来は規模拡大をしていきたいと考えています。



▲これからの目標を話している早田さん (左：早田暖音さん 右：甲斐農業委員)

農業をしている方 「地域計画」 田んぼや畑をお持ちの方 を皆さんで考えてみませんか？



地域計画とは？

高齢化や人口減少による農業者の減少や、耕作放棄地の拡大が続いていくと、地域の農業が守れなくなるかもしれません。これまで地域の皆さんが守り、おいしい作物を作ってきた農地を、子や孫に引き継いでいくためには、地域の皆さんで将来の姿を話し合うことが大切です。地域計画はその話し合いの結果をまとめ、取組みを後押しするものです。

地域農業の将来について

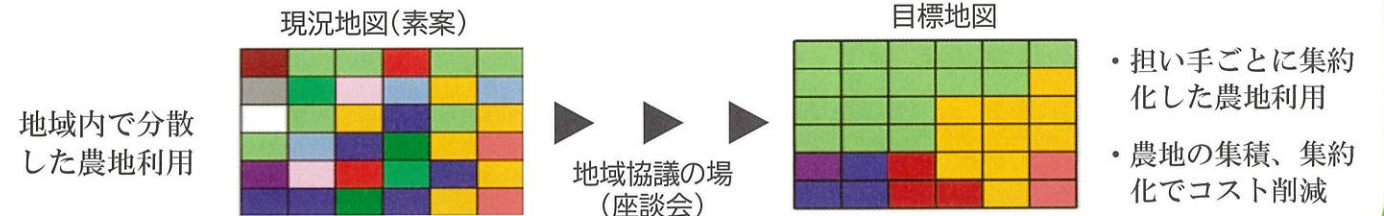
- 地域が一体となって取り組んでいくこと
- ・地域野菜のブランド化を目指そう！
- ・農業用機械を使って省力化を目指そう！
- ・有機農業を推進しよう！ など

目標地図(農地利用の将来の設計図)

- およそ10年後について
- ・誰がこの農地を利用するか
- ・農地の貸し借りや交換
- ・新たな担い手の募集

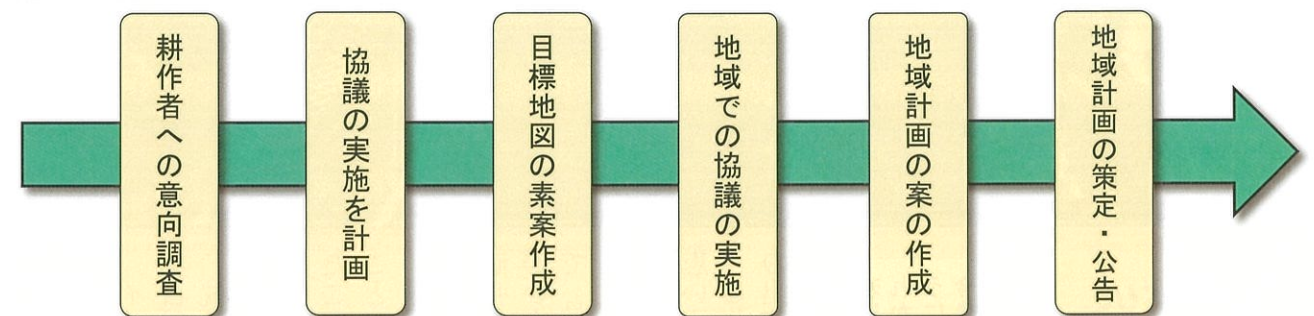


これらを地域における話し合いによって決めていくものです。



▲意向調査(アンケート)を反映し目標地図(素案)を準備して地域協議の場でお示しする予定です。

地域計画を作り上げるまでの流れ(イメージ)



- 協議の場に参加し、地域農業の未来について話し合うことがとても重要です。
- 対象である耕作者の方に、意向調査(アンケート)を送付いたします。送られてきた方は、意向調査(アンケート)の回答にご協力をお願いいたします。また、地域との協議の場の実施予定日は、右のQRコードから確認できます。>>> ※地域によって実施スタイルが異なりますのでご了承ください。



●久留米市農政部農政課 TEL: 0942-30-9163
久留米市農業委員会事務局 TEL: 0942-30-9236

詳しくはこちらまでお問い合わせ下さい